Kinden CORPORATION

第111期 報告書

株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日まで

証券コード：1944

企業理念

私たちは　優れた設備とサービスを創造し
社会のインフラを支え　明るく豊かな未来の実現に貢献します

・お客様のニーズを把握し、技術力と人間力で安心と安全と快適をお届けします
・健全な企業活動を通じて、事業を支える全ての人々の幸せを実現します
・従業員が働きがいを実感でき、家族と共に笑顔で暮らせる会社であり続けます

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2024年度通期の状況につきましてご報告申し上げます。

当期の我が国経済は、価格転嫁の進展や円安などの影響により、企業収益に改善の動きがみられました。建設業界におきましても、建設コストの高止まり等、一部厳しさは残るものの、企業の投資意欲は好調な業績を背景に底堅く、建設需要は堅調に推移しています。

このような景況下、当期における当社グループの連結業績につきましては、下表のとおり、期首予想を上回り、前期比で増収・増益、完成工事高及び全ての利益につきまして、創業以来最高値となる実績を確保することができました。旺盛な建設需要、建設コストの価格転嫁の広がり、とりわけ「担い手三法改正」をはじめとする業界全体で「適正工期・適正金額の確保」に向けた動きが進むなかで、お客さまのご理解はもとより、当社グループにおきましても、適正工期の確保や生産性の向上、現場管理業務への支援、そしてエリアを越えてきんでん全体で連携した施工体制を構築することで、現場・お客さまに真摯に向き合い、対応してきたことが、このような業績に結びついたと考えております。

2021年に策定した中期経営計画『Sustainable Growth 2026 ～人、心、そして未来へ～』も4年が経過しました。当社グループの持続的成長・発展に向け、2026年度成長Vision「連結7,000億円規模の経営」のもと、地域密着・事業拡大に向けた「事業戦略」をはじめ、「環境戦略」「人財・働き方戦略」「コーポレート戦略」により、事業基盤の整備・拡大や労働・職場環境の整備等を進めてきました。これらの取り組みの結果、成長指標「売上高7,000億円程度・営業利益500億円程度」を2年前倒しで達成することができました。

計画開始からの4年間を振り返りますと、他社に先駆けて「人的資本」を重視し、当社の強み・最も大切な経営資源である「人」を中心とした中期経営計画を基本として、人と心を経営の根幹に置き、新きんでん学園や首都圏新事業所をはじめ、人財を軸とした成長投資を進めてきました。また、資本政策の推進により、株価・企業価値も大きく高まりました。今期の業績は、グループ全体が一丸となって事業基盤整備等に取り組み、そしてお客さまニーズにお応えしてきたことの成果であると考えております。

配当金につきましては、資本政策の考え方及び当期の業績等を勘案して、創業80周年記念配当10円を加え、1株当たり年間90円とさせていただきました。このうち先にお支払いした中間配当金の40円を差し引き、残り50円を期末配当金とさせていただいております。

2025年度からの中期経営計画につきましては、このように成長指標は達成したものの、中期経営計画の目的はあくまで「当社グループの持続的な成長と発展」です。2025年度以降も、この事業規模を維持していく、そして将来さらに伸ばしていく、そのために必要となる事業基盤の整備・拡充に引き続き注力していきます。今年4月には株式会社北弘電社を新たな仲間として当社グループに迎え入れました。今後、更なる地域密着の深化・事業拡大を進めてまいります。また、財務面におきましては、今年1月にアップデートしました資本政策に基づき、資本効率向上に取り組んでいきます。さらに、ガバナンス改革・強化として、経営執行役員制度を導入し、監督と執行の役割を明確化し、ガバナンスを高めながら、意思決定スピードをさらに高めてまいります。

2025年度の建設市場は、今期に引き続き高水準で推移することが期待されますが、その一方で、建設コスト高騰や米国の関税政策等による投資抑制にも注視が必要な状況です。しかしながら私たちは、引き続き、お客さまニーズにしっかりとお応えしながら、更なる高みを目指して取り組んでまいります。そして、あらゆるステークホルダーと向き合い、価値を共創していくことで、持続的な成長・発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも深いご理解をいただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長　**上坂 隆勇**

［連結業績］（2024年4月1日～2025年3月31日）

売上高	7,050億5千8百万円	（前期比 7.7%増）
営業利益	609億7千9百万円	（前期比42.9%増）
経常利益	645億4千6百万円	（前期比40.4%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	472億5千万円	（前期比40.8%増）

連結決算ハイライト(財務諸表)

[連結損益計算書]

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2023.4.1～2024.3.31)	当連結会計年度 (2024.4.1～2025.3.31)
完成工事高	**654,516**	**705,058**
完成工事原価	546,935	572,255
完成工事総利益	107,581	132,803
販売費及び一般管理費	64,903	71,823
営業利益	**42,677**	**60,979**
営業外収益	4,175	4,673
営業外費用	870	1,106
経常利益	**45,982**	**64,546**
特別利益	3,503	2,677
特別損失	423	652
税金等調整前当期純利益	49,062	66,571
法人税等	15,631	19,445
当期純利益	33,431	47,125
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△122	△125
親会社株主に帰属する当期純利益	**33,553**	**47,250**

[連結貸借対照表]

(単位:百万円)

科　目	前連結会計年度 (2024.3.31)	当連結会計年度 (2025.3.31)
資産の部		
流動資産	482,216	503,656
固定資産	333,671	318,037
資産合計	**815,887**	**821,693**
負債の部		
流動負債	205,350	202,457
固定負債	36,483	19,497
負債合計	**241,834**	**221,955**
純資産の部		
純資産合計	**574,053**	**599,738**
負債純資産合計	**815,887**	**821,693**

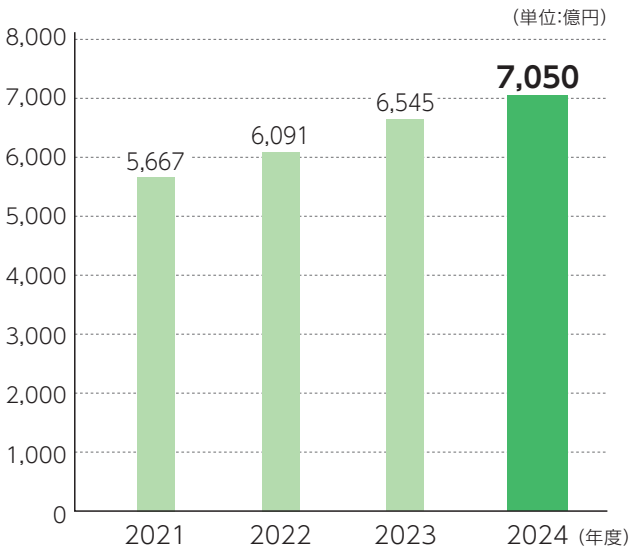
[連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位:百万円)

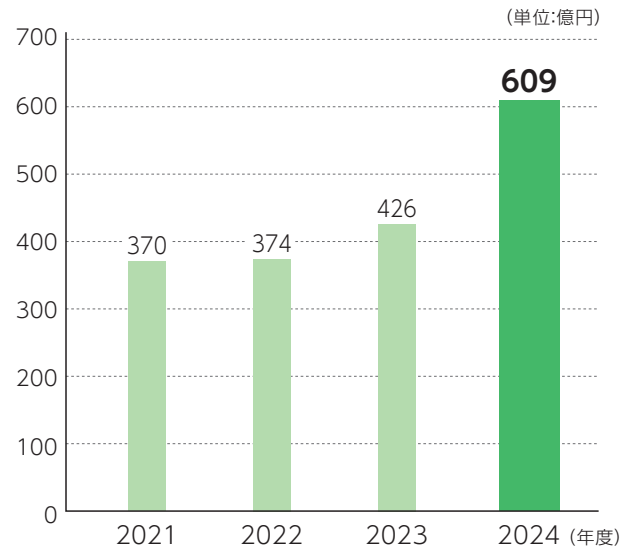
科　目	前連結会計年度 (2023.4.1～2024.3.31)	当連結会計年度 (2024.4.1～2025.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,520	24,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,179	3,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,978	△24,976

連結決算ハイライト

[完成工事高]



[営業利益]



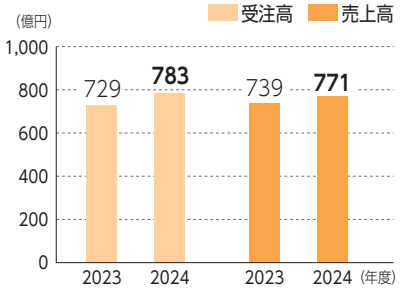
工事種別売上高(個別)

配電工事 構成比 12.9%

関西電力(株)※の配電線工事など

売上高 771億円(前期比4.3%増)

受注高 783億円(前期比7.4%増)



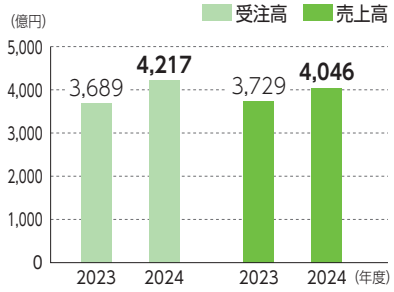
※関西電力送配電(株)を含んでいます。

一般電気工事 構成比 67.9%

事務所ビル、工場などの電気設備工事

売上高 4,046億円(前期比8.5%増)

受注高 4,217億円(前期比14.3%増)

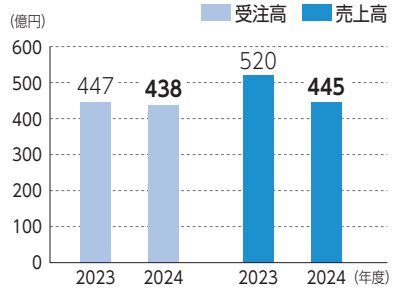


情報通信工事 構成比 7.5%

FTTH、携帯電話、LANなどの通信設備工事

売上高 445億円(前期比14.3%減)

受注高 438億円(前期比2.0%減)

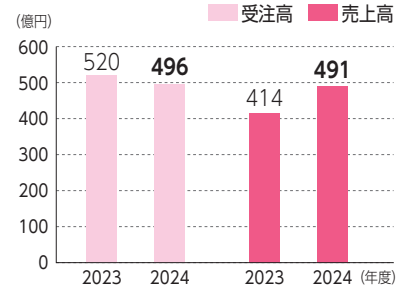


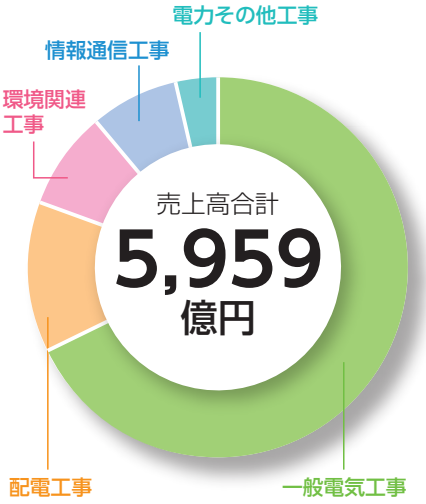
環境関連工事 構成比 8.3%

事務所ビル、工場などの空調・衛生工事

売上高 491億円(前期比18.7%増)

受注高 496億円(前期比4.8%減)



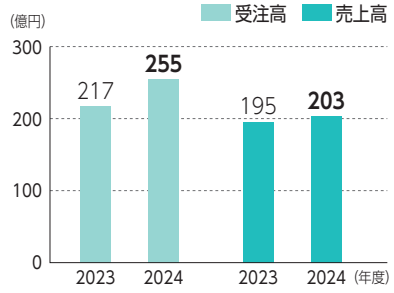


電力その他工事 構成比 3.4%

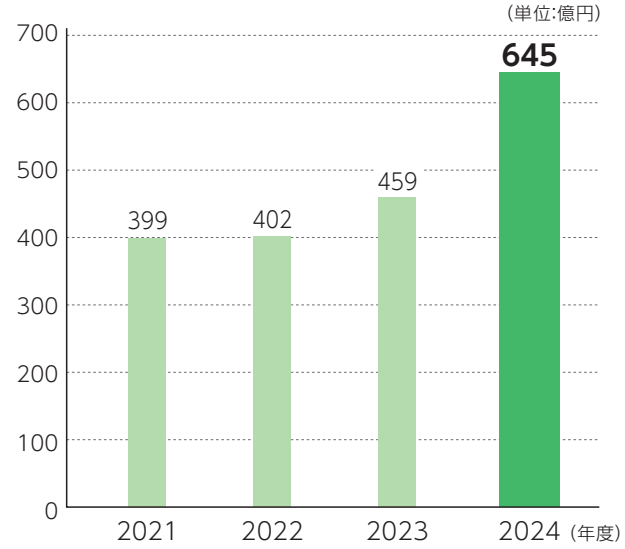
送電工事、発・変電所工事(再生可能エネルギーを含む)

売上高 203億円(前期比3.7%増)

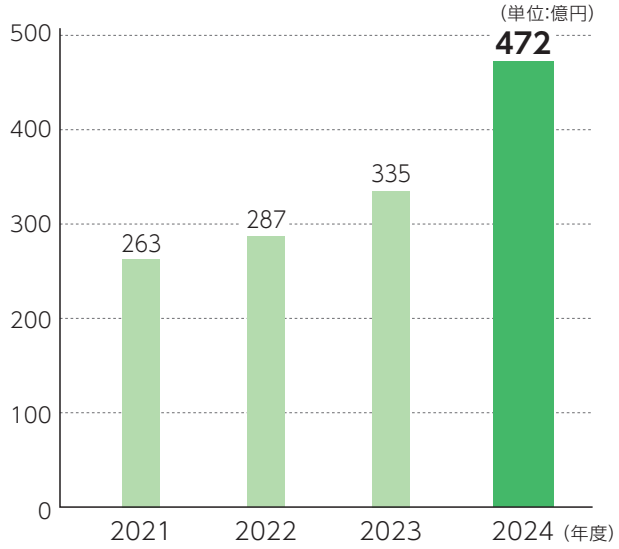
受注高 255億円(前期比17.8%増)



[経常利益]



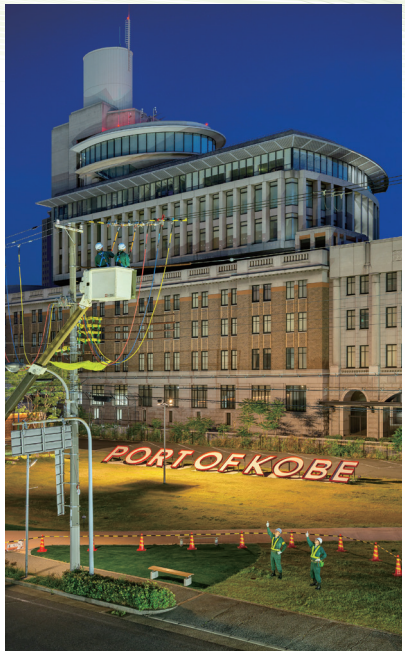
[親会社株主に帰属する当期純利益]



主な施工実績

TAKANAWA GATEWAY CITY
THE LINKPILLAR 1　NORTH/SOUTH(東京)

グラングリーン大阪(大阪)

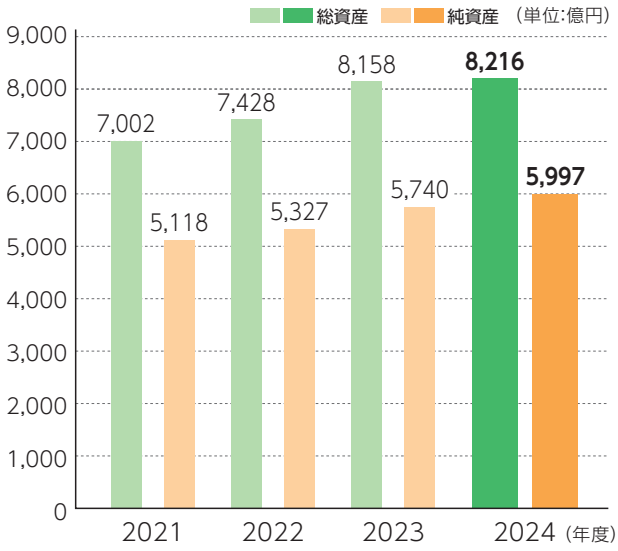


活線振分工具を使用した無停電工事(兵庫)

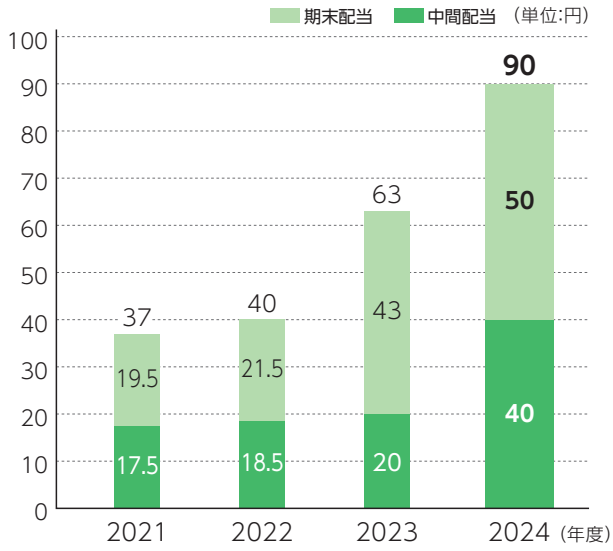
大阪・関西万博 ©Expo 2025 大屋根リング(大阪)

長崎スタジアムシティ(長崎)

［ 総資産・純資産 ］



［ 1株当たり配当金 ］



TOPICS

2024年9月 第47回技能五輪国際大会　再生可能エネルギー職種で2連覇 郡安選手が金メダルを獲得

2024年9月10日から15日の6日間にかけてフランス·リヨンで開催された第47回技能五輪国際大会において、再生可能エネルギー職種の日本代表として出場した郡安拓海選手が金メダルを獲得し、同職種では当社として2大会連続の金メダル獲得となりました。

競技は4日間にかけて行われ、太陽光発電と風力発電について、①設置②保守③設計④運用の4つの課題に挑みました。チームきんでんのバックアップのもと、日ごろから技術·技能のみならず体力や精神力の強化に取り組んできたことが、金メダル獲得につながりました。

今回の結果により、技能五輪国際大会で獲得したメダルの数は計14個（金メダル12個、銅メダル2個）となり、当社から同大会に出場した選手は8人連続での金メダル獲得となりました。

当社は、今後も大会出場経験者による技術·技能の伝承を進めながら、世界の舞台で技を競う同大会への挑戦を続けていく方針です。

金メダルを獲得した郡安選手（中央）

2025年4月 ㈱北弘電社をきんでんグループに 北海道エリアの事業基盤を強化

2025年4月1日、当社は北弘電社（本社／札幌市）の全株式を取得しました。これにより、同社は当社のグループ会社となりました。

北弘電社は、1951年に設立され、主に北海道で屋内配線工事、電力関連工事、産業設備機器の仕入·販売などの事業を展開しています。

再開発をはじめとする旺盛な建設工事需要、再生可能エネルギープロジェクトの活性化などによって今後の市場の拡大が期待される北海道エリアにおいて、多数の施工実績と確固たる顧客基盤、豊富な技術者や強固な施工体制を有している北弘電社をグループに迎えることで、両社の経営資源の相互補完·共有·活用を図り、地域密着をさらに進め、北海道エリアにおける事業基盤を強化していきます。

商　　号	株式会社北弘電社
本社所在地	札幌市中央区北11条西23丁目2番10号
設 立 日	1951年1月29日
資 本 金	1億円
事業内容	屋内配線工事、電力関連工事、産業設備機器の仕入·販売
従業員数	228名（2025年4月1日現在）
事 業 所	本社、函館支社、道東支社、東北営業所、北弘電社テクノセンター
U R L	https://www.kitakoudensha.co.jp

企業価値のさらなる向上を目指し、握手を交わす上坂隆勇社長（中央）と北弘電社 佐藤友昭社長（左）、馬渕直樹取締役（右）

2025年4月 大阪·関西万博 ©Expo 2025『オールきんでん』で開催に貢献

当社は、広大な大阪·関西万博会場内の電力インフラ工事をはじめ、大屋根リング、シグネチャーパビリオン、民間パビリオン、携帯基地局など多くの施設で電気設備工事、空調·衛生設備工事、情報通信設備工事、内装工事を施工しました。

着工時には電気·通信·上下水道などのインフラが未整備、都市部から離れた現場立地等の困難な環境において、全社一丸となり『オールきんでん』で様々な創意工夫を行い課題を解決していきました。

また、未来社会ショーケース事業「グリーン万博」にブロンズパートナーとして協賛し、エネルギー·マネジメント·サービス「EMS-AI」による実証実験や、フューチャーライフエクスペリエンスでの体験型展示〈期間：4/22～4/28〉も実施しました。

当社はこれらの経験を礎として、未来に向けたさらなる飛躍に挑戦していきます。

上坂隆勇社長（2列目中央）が施工中の現場を激励訪問

会社概要（2025年3月31日現在）

商号	株式会社 きんでん
英文名	KINDEN CORPORATION
設立年月日	1944年8月26日
資本金	264億1,148万7,018円
従業員数	8,461名
主な事業所	
本店	大阪市北区本庄東2丁目3番41号
東京本社	東京都千代田区九段南2丁目1番21号
支店	中央 京都 神戸 姫路 奈良 和歌山 滋賀
支社	大阪 東京 横浜 東関東 北関東 中部 中国 九州 北海道 東北 四国 電力
営業所	98か所
海外事務所	シンガポール、グアム、ヤンゴン、 サイパン、ドバイ
研究所	京都研究所（京都府木津川市）
研修施設	きんでん学園（兵庫県西宮市） 人材開発センター（千葉県印西市）

株式の状況（2025年3月31日現在）

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	199,954,180株 （うち自己株式数 1,204,610株）
株主数	9,273名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
関西電力株式会社	58,905	29.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	22,258	11.20
関電不動産開発株式会社	14,507	7.30
きんでん従業員持株会	9,038	4.55
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	6,771	3.41
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,721	2.38
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,704	1.36
GOVERNMENT OF NORWAY	2,283	1.15
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	2,150	1.08
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 384513	2,101	1.06

（注）持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

役員（2025年6月25日現在）

役員体制（取締役・監査役）

代表取締役会長	土井義宏
代表取締役社長	上坂隆勇
代表取締役	林 弘之
取締役	伊﨑幸治
取締役	鳥山半六
取締役	髙松啓二
取締役	相良和伸
取締役	小久江晴子
取締役	武藏扶実
取締役	石原美幸
常任監査役（常勤）	錦織和昭
監査役（常勤）	田中日出男
監査役	吉岡雅美
監査役	鎌倉利光
監査役	長 勇

経営執行体制

会長	土井義宏
社長	上坂隆勇
経営執行役員 副社長	林 弘之
経営執行役員 副社長	佐藤守良
経営執行役員 専務	福田 隆
経営執行役員 専務	堀切正則
経営執行役員 常務	伊﨑幸治
経営執行役員 常務	吉増憲二
経営執行役員 常務	島田 守
経営執行役員 常務	榎本謙司
経営執行役員 常務	垣内康男

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 （公告掲載URL）https://www.kinden.co.jp/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社（特別口座の口座管理機関）
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
同インターネットウェブサイト	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

[ご注意]

1. 証券会社に口座をお持ちの株主様は、株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する住所変更、単元未満株式の買取・買増請求などのお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社の全国本支店でお支払いいたします。

特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

特別口座は証券会社の口座とは異なり、株式を売買することはできません。売買等のお取引を希望される株主様は、証券会社に口座を開設いただき、特別口座から証券会社の口座に株式の振替請求をしてくださいますようお願いいたします。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK 環境に配慮した植物油インキを使用しています。